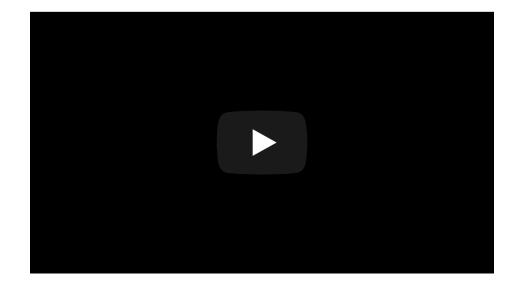
## 【听译】残响は鸣 り止まず



残响は鸣り止まず 胸に残る 记忆に缒ることだけ 上手くなってしまった 却变愈发熟练了

回声响而不绝 留干心中 沉溺在记忆中这一点

光降る 平穏に诱われて 窓から见える いつもの后ろ姿を探した わかってる

阳光洒落 诱向平稳日常 从窗沿看去 探寻一直在那儿的背影 我明白的

也不是你要永远消失了

会えなくなるわけでも无 并不是再也见不到了 くて 君が消えてしまうことも 无い

> 和过去相比唯一不同的一 点 是得知了「答案」这堵看

不见的墙

「答え」が知らせた见え ない壁

过去と讳うことは一つ

残响は鸣り止まず 胸に残る 元の形が消えても

哀しみは消えません

回声响而不绝 留于心中 就算已经没有了原本的形 状 悲凉还是不会消失

绮丽だった音色も 浊っていた あのドアを开けなければ 知らずにいられたのに

曾经清澈的音色 也变得浑浊 没打开那扇门的话 明明不能继续不知情的

ぎこちない 新たな二人の距离 何を话せば いいかも分からなくなる なんてね わかってる

牛疏而尴尬 两人间新的距离 该说什么 已经不知道如何说了

我明白的

むしろ「二人」という表 现も 私の中で生み出した 元々滑稽な絵空事

もう昔の二人では无い 已经不再是从前的两人了 不如说「两人」这种说法

> 也只是我凭空想出的 原本就很滑稽的白日梦

后悔は行动の 证という けれど実らぬなら そう 意味が无い それが恋

如果说后悔是行动的 证据的话 反过来如果没有结果的话 是的 就没有意义 这就是恋

美しく散りたいよ 格好悪いよ 一人ですすり泣く日々 残响に混じるだけ

好想完美地消失啊 现在好尴尬啊 一个人凄凄落泪的每天 只是融入在回声中

谁にも言えない感情 言えぬどころか増してい 因为不能说所以更难过 くから もう一度だけ駄目でしょ うか? この気持ちは迷惑でしょ うか? 闻けないよ

对谁也无法启齿的感情 再最后重来一次不行么?

这种心情会让你困扰么?

这没法问啊

残响は鸣り止まず 胸に残る 元の形が消えても

哀しみは消えません

回声响而不绝 留干心中 就算已经没有了原本的形 状 悲凉还是不会消失

生き甲斐だった君が ここにいない このドアを开けなければ 如果没有打开这扇门的话 知らずにいられたのに

你原本是我活下去的动力 现在却不在了 明明还能继续不知情的

一人ですすり泣く日々 残响に混じるだけ 一个人凄凄落泪的每天 只是融入在回声中

照例左侧注音,右侧解释字词。

<sup>ざんきょう</sup> な ゃ ゃ **残响 は鸣り止まず** 

でんきょう 残响:中文似乎应该叫<u>混</u> <u>响</u>,和回声有点关系但是 又不是同一回事。这里翻 译成回声似乎也没什么问 题。

tha のに 胸 に 残 る est すが 记忆 に 缒 ることだけ

が 缒る:作为依靠紧紧抓住 某物,这里就是以记忆为 救命稻草的感觉。 还有一 层引申义是对佛神祈愿。

<sup>うま</sup> 上手 くなってしまった

を 会 えなくなるわけでも 无 くて き 君 が 消 えてしまうことも 无 い が 过去 と 违 うことは 一 つ 「答 え」が知 らせた 见 えない 壁

\*\* 残响 は鸣り止まず 胸に残る \*\*元の形が消えても がな しみは消えません

<sup>きれい</sup> きたい きたい 绮丽 だった 音色 も

音色:一般音色读作ねい ろ或者おんしょく,这里 写音色读作きたい, 怀疑 是表达「 気体 」 。

注 油 っていた

あのドアを 开 けなければ

知 らずにいられたのに

ぎこちない

ぎこちない:荒凉的样 子,悲凉的样子,萧条的 样子。 新たな二人の距离 何を话せば いいかも分からなくなる なんてね わかってる

もう昔の二人では无い むしろ「二人」という表现も たしなか う だ 私の中で生み出した もともと こっけい えそらごと 元々滑稽な絵空事

こうかい こうどう 后悔は行动の が正という けれど実らぬなら そう 意味が无い それが恋

きっく 美 しく 散 りたいよ かっこ わる 格好 悪 いよ

<sup>ひとり</sup> 一人 ですすり <sup>な</sup>立く 日々 直译:好想美丽地凋谢啊

格好悪い:不帅气,很

衰,很囧

## ざんきょう <sup>ざんきょう</sup> ま 残响 に 混 じるだけ

<sup>だれ い い かんじょう</sup> **谁 にも 言 えない 感情** ້ 言 えぬどころか 増 していくから <sup>いちど</sup>もう 一度 だけ 駄目 でしょうか? この 気持 ちは 迷惑 でしょうか? 闻 けないよ

<sup>ざんきょう な や</sup> 残响 は 鸣 り 止 まず <sup>むね</sup> のこ 胸 に 残 る <sup>もと かたち</sup> き 元 の 形 が 消 えても <sup>カな</sup> 哀 しみは 消 えません

牛き甲斐だった君が 牛き甲斐:活下去的价 值,活下去的目的

ここにいない このドアを  $\overset{\,\,{}_{\circ}}{T}$  けなければ 知 らずにいられたのに

<sup>ひとり</sup> 一人 ですすり 泣 く 日々

<sup>ざんきょう</sup> ま 残响 に 混 じるだけ